| キャラクター名 | プレイヤー名 |
|---|---|
| パンドラ | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| **ポジション** | オートマトン | **享年** | 18 |
| **メインクラス** | ロマネスク | **暗示** | 渇望 |
| **サブクラス** | バロック | **寵愛点** | 103 |

| | |
|---|---|
| **初期配置** | 煉獄 |
| **最大行動値** | 12 |

| 能力値 | クラス | 修正 | 合計 |
|---|---|---|---|
| **武装** | 0 | 1 | 1 |
| **変異** | 2 | 1 | 3 |
| **改造** | 2 | 1 | 3 |

| 記憶のカケラ | 内容 |
|---|---|
| 謝罪 | |
| 雪 | |
| 一目惚れ | 彼女と初めて会ったのは私がまだ10にも満たない頃だった。 祭りの中、偶然見かけた彼女は誰よりも美しかった。 魂を奪われるかのような強い衝撃。全てはあの時から始まっていたのだ── |
| 微笑み | 初めから結末が一者にいた。 初めから結晶物かでいた。 残酷な、非情な、 彼女を救おいたで至つめた。 子供らう言るのに、「どうか笑おいてほしい 私は幸せ時間をありがとう 私に決断しろない」 それ時間重要、良好関係は壊せなかった。 それが時の7時間加速。 自分一緒生きおそ失ってるかった自己 |
| 恋心 | 私は彼女が好きだ。いいや、愛していた。 でも、誰にもこの思いを告ろれないようにした。 それが間違いだったのか──彼女は私を拒絶する。 なんて苦しい、悲しい。だけど、私はそれでも彼女が愛おしい |
| 夭逝 | 彼女が死んだ。まだ若かったのに。 絶両私は彼女と会話もままならないまま、彼女を失った。 泣いた。泣いて泣いて泣いて、涙が枯れ果てるまでは泣き続け、それでもまだ心は癒えない。 嗚呼、もう一度──彼女を |
| 新生 | 私は彼女を護ろう。 彼女は私だ。 だが、 私は彼女を救う事はできない。 彼女は絶対的に「彼女」 ー。 彼女は、 彼女は、 彼女は一人彼の為。 彼女は彼の為は為しの為に生きろ。 彼女は彼の為に「生きろ」 と。 彼女は「生きろ」 と言った。 彼女はこの「生きろ」 の為に生き、 彼女の為に死ぬ。 私は、 私は彼女の為に生きる。 彼女の為に死ぬ。 私は、 私は彼女の為に生き、彼女の為に死ぬ。 私は、私は彼女の為に生き、彼女の為に死ぬ。 私は、私は彼女の為に生き、彼女の為に死ぬ。 私は、